

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

わがまちの道徳教育推進プラン 四万十町教育委員会		所管する小学校名	仁井田小学校、影野小学校、七里小学校、米奥小学校、窪川小学校、川口小学校、東又小学校、興津小学校、田野々小学校、北ノ川小学校、十川小学校、昭和小学校	校数	12校	計	17校																																															
		所管する中学校名	窪川中学校、興津中学校、大正中学校、北ノ川中学校、十川中学校	校数	5校																																																	
道徳教育推進方針		家庭、地域と連携し、子どもの心をたがやす道徳教育を推進する。																																																				
年度当初の拠点地域の状況		到達目標	中間検証(下半期に向けての改善事項)		到達目標達成状況																																																	
<p>平成30年度末の道徳意識調査によると「自分にはよいところがあると思う」小学校86.4%、中学校81.3%という結果になっている。どちらもH30年度当初に比べると数値は上がってきているものの児童生徒の約5人に1人がこの項目で肯定的な評価ができておらず改善の余地があると考え。</p> <p>また、新学習指導要領の趣旨に沿った道徳教育を進めるにあたり、教師側には「考え、議論する道徳」を意識した授業づくりについてさらなる研修が求められる。</p> <p>家庭で取り組む高知の道徳の活用について、各校で工夫はされているが、町として情報の共有ができておらず、もったいない状況である。</p>		<p>1. 道徳意識調査の肯定的回答の割合が向上する。 「自分にはよいところがある」小学校90%、中学校85%</p> <p>2. 「考え、議論する道徳」を意識した授業づくり 授業力チェックシート(教師・児童生徒)の以下4点のポイントが年度末に向けて向上する。 「①安心して意見が言える学級集団」 「④考えを深められる授業構成」 「⑦考えが深まる問い返し」 「⑧考えを話し合い、聞きあえる授業」</p> <p>3. 家庭で取り組む高知の道徳の活用に向けて、活用事例集を作成する。</p>	<p>1. 年度当初(5月)→中間(9月)の結果は 小学校…82.1%→82.7% 中学校…73.7%→74.9%で目標に達していない。</p> <p>2. 授業力チェックシートの5月の値(以下の表)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>児童</th><th>生徒</th><th>小教員</th><th>中教員</th></tr> <tr><td>①</td><td>3.5</td><td>3.6</td><td>3.1</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>④</td><td>3.5</td><td>3.6</td><td>2.8</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>3.5</td><td>3.6</td><td>3.2</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>3.6</td><td>3.6</td><td>2.9</td><td>3.0</td></tr> </table> <p>児童・生徒の評価は高いが、教員は自身の授業に対してまだまだと感じていることがわかる。授業づくり講座等で得たことが授業に生かされることが望まれる。</p> <p>3. 活用事例集作成に向けて、学校での取組をふりかえることができた。児童生徒の意識調査では、「家庭との連携」が小学校…49.0%→51.0%、中学校36.3%→51.2%となっている。</p>		児童	生徒	小教員	中教員	①	3.5	3.6	3.1	3.1	④	3.5	3.6	2.8	2.9	⑦	3.5	3.6	3.2	3.2	⑧	3.6	3.6	2.9	3.0	<p>1. 年度当初(5月)→中間(9月)→年度末(2月)の結果は 小学校…82.1%→82.7%→79.8% 目標に達していないだけでなく、年度当初より下がってしまった。 中学校…73.7%→74.9%→80.5% 目標には達していないが、大きく上昇した。</p> <p>2. 授業力チェックシートの2月の値(以下の表)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>児童</th><th>生徒</th><th>小教員</th><th>中教員</th></tr> <tr><td>①</td><td>3.5</td><td>3.6</td><td>○3.2</td><td>○3.2</td></tr> <tr><td>④</td><td>3.5</td><td>3.6</td><td>○2.9</td><td>▲2.8</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>3.5</td><td>○3.7</td><td>3.2</td><td>▲3.0</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>▲3.5</td><td>3.6</td><td>○3.1</td><td>3.0</td></tr> </table> <p>授業づくり講座、公開授業時の講話などで④、⑦について具体的な事例を学んだことで、教員の目標が高くなり、結果として厳しい値になったと考えられる。</p> <p>3. 「家庭で取り組む『高知の道徳』」の活用事例を町内の17校から募り、活用事例集を作成し、教員に配布した。</p>		児童	生徒	小教員	中教員	①	3.5	3.6	○3.2	○3.2	④	3.5	3.6	○2.9	▲2.8	⑦	3.5	○3.7	3.2	▲3.0	⑧	▲3.5	3.6	○3.1	3.0
	児童	生徒	小教員	中教員																																																		
①	3.5	3.6	3.1	3.1																																																		
④	3.5	3.6	2.8	2.9																																																		
⑦	3.5	3.6	3.2	3.2																																																		
⑧	3.6	3.6	2.9	3.0																																																		
	児童	生徒	小教員	中教員																																																		
①	3.5	3.6	○3.2	○3.2																																																		
④	3.5	3.6	○2.9	▲2.8																																																		
⑦	3.5	○3.7	3.2	▲3.0																																																		
⑧	▲3.5	3.6	○3.1	3.0																																																		
到達目標達成のための取組		取組計画		指標達成状況の分析																																																		
取組項目	取組の評価指標	5月～8月	中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)	達成状況	年度末評価																																																
道徳教育の主体的な推進体制の整備	小・中学校において、道徳教育推進教師と管理職を中心とした校内体制ができている。	①道徳教育推進協議会(6月) ・各校の校内体制の確認。 ・児童生徒の意識調査結果、授業力チェックシートの結果の共有。	A	①道徳教育推進協議会(10月、2月) ・道徳意識調査の結果の共有 ・協議:授業づくり講座を校内研修にどう活かすのか。 ・講話「道徳科における具体的な評価の在り方について」 ・道徳意識調査、授業力チェックシートの結果の共有。 ・講話・演習「道徳教育の推進に向けて」 ・協議:来年度の取組について	①道徳教育推進協議会を10月、2月に行い、道徳教育推進教師と管理職を中心とした校内の体制を確立した。	A																																																
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	各校で道徳の授業力チェックシートを用いて、年度当初より年度末のポイントを上げる。	①道徳教育推進協議会において、各校の授業力チェックシートの結果を分析し、課題を明らかにする。課題について具体的な解決策をさぐる。(講師招聘)	B	①道徳教育推進協議会において、各校の授業力チェックシートの結果を分析し、効果のあった取組について協議し、各校の実践に活かす。(講師招聘)	①道徳教育推進協議会において、授業づくり講座での学びを各校の校内研修にどのように活かすのか、協議した。また講師を招聘し指導方法、評価についての研修を行った。教員の意識は高まったが、数値としては下がった項目もあった。	B																																																
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	公開授業研究に各校から1名以上が参加し、授業や講話の内容について伝達講習を行う。	①小小・小中連携教育推進協議会において、各校区で小・中の授業を見合う体制をつくる。校内研修の計画などを確認し、情報を共有する。 ②道徳教育推進協議会に、情報交換の時間を設定し、中学校での評価が円滑に進むように、小中学校で情報を共有していく。	B	①公開授業研究(2回)「講話の内容」 ・小学校・「小規模複式校における道徳の授業」 ・中学校・「考え、議論する道徳の授業を進めるには」 ②道徳教育推進協議会に、情報交換の時間を設定し、授業づくり講座や評価について小中学校で情報を共有していく。	①昭和小学校、十川中学校での公開授業には、町内の全小中学校から参加があった。2回とも、高知大学の森有希准教授を講師として招聘した。道徳の授業づくりについて、両校の実践をふまえたうえで、授業改善の視点について講話をしていただき、全体で共有することができた。	A																																																
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	「高知の道徳」の活用事例集を作成し、小中学校の全教員に配布する。	①「高知の道徳」の活用について、実践交流を行い、活用事例集づくりに向けて、協議を行う。 ②道徳参観日の実施。	C	①「高知の道徳」活用事例集を作成する。事例集づくりに向けての協議は全体で1度しか設定できなかった。小グループで協議する場を設定する。 ②道徳参観日の実施。	①「高知の道徳」活用の事例集を作成し、町内の教員に配布した。 ②各校で、道徳参観日を実施した。	A																																																

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)